

当社の新たなビジネスプラットフォーム「KAIZEN FARM」が 中部経済新聞に掲載されました

2021年12月28日

当社の新たなビジネスプラットフォーム「KAIZEN FARM」が中部経済新聞に掲載されました。

月 日 2021年(令和3年)12月15日 水曜日 (2)

「カイゼン」ツール提供開始

シイエム・シイ

業務手順を整理、効率化提案

「カイゼン」ツール提供開始

シイエム・シイ

マニュアル制作などを手掛けるシイエム・シイ(本社名古屋市中区平和1-1-10、佐々幸恭社長、電話052・322・3351)は、業務手順の棚卸し(業務を洗い出し、整理すること)ツール「カイゼンファーム」の提供を開始した。同ツールによりRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)化などで効率化できる業務を見える化する。5年ほどで2500社以上の利用を目標としている。(中村光希)

カイゼンファームは、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進などに課題を持つ企業向けサービス。10月に本格提供を開始した。今年1月から先行提供しており、現在の利用社数は約50社・団体、利用件数は約596件となっている。

部門ごと、業務分類ごとに業務手順情報を登録すると、ツールが入力情報を基にRPA化などに移行可能かの判別や、情報の整理などを自動で行う。

また、入力情報を整理した表はエクセルデータ形式で出力可能で、業務チェックリストや従業員教育用のマニュアルが作れる。

資料として活用できる。有料オプションとして入力情報を基にワークリックでマニュアルを生成する同社のサービス「ナレッジ・コネクト」と連動したサービスも提供する。

ナレッジ・コネクトではマニュアルに必要な情報だけを抽出する、手順ごとに画像を登録するなど、エクセルデータ形式よりも分かりやすく本格的なマニュアル作りができる。スマートフォンやタブレットなど多様な機器で閲覧可能なマニュアルが作れる。

今後は、入力情報を分析し、同社またはパートナー企業が取り扱うDXツールを紹介するサービスも実装予定だ。

担当者は「経営層からDX化やRPA化を求められるが、どこにどんなツールを導入すればよいか悩んでいる担当者が多く見受けられる。同ツールを利用することで、課題解決につながる」と話している。

ツール使用時の様子(イメージ)



■KAIZEN FARM について

◎公式サイト：<https://kaizenfarm.jp/>

◎トライアル期間実績：<https://kaizenfarm.jp/case/>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

担当部署 ：経営企画部 KAIZEN FARM 事業推進室 KAIZEN FARM 事務局

お問い合わせに関しましては、KAIZEN FARM 公式サイト内、「お問い合わせ」よりお願いいたします。

◎お問い合わせ：https://lp.cmc.jp/kf_inquiry